

Data Tomo



WEB 管理ツールマニュアル

Ver.2.1 [2010年11月12日版]

目次

| | |
|----------------------------|----|
| 第1章 WEB 管理ツールの起動と終了 | 1 |
| 1.1 ログイン | 1 |
| 1.2 ログオフ | 1 |
| 1.3 メニューバーとメニュー操作 | 2 |
| 1.4 メニュー構成 | 2 |
| 第2章 システム管理メニュー | 3 |
| 2.1 基本設定 | 3 |
| 2.2 ログと監視 | 5 |
| 2.3 設定情報の管理 | 7 |
| 2.4 シャットダウン・再起動 | 9 |
| 第3章 バックアップ設定メニュー | 10 |
| 3.1 バックアップ | 10 |
| 3.1.1 バックアップ作成・編集 | 11 |
| 3.2 復元 | 13 |
| 3.3 遠隔地バックアップ | 15 |
| 3.3.1 遠隔地バックアップ作成・編集 | 16 |
| 第4章 詳細設定メニュー | 18 |
| 4.1 ユーザー設定 | 18 |
| 4.1.1 ユーザー作成・編集 | 19 |
| 4.2 共有フォルダ設定 | 20 |
| 4.2.1 共有フォルダ作成・編集 | 21 |

第 1 章 WEB 管理ツールの起動と終了

1.1 ログイン

WEB ブラウザを起動し、「IP アドレス」と「ポート番号」(22222 で固定) を URL に指定して DataTomo が動作しているサーバーにアクセスします。

ホスト名でアクセスできるネットワーク環境の場合、「ホスト名」と「ポート番号」(22222 で固定) でもアクセスできます。



認証画面が表示されたら、「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンを押します。
※「ユーザー名」と「パスワード」は管理者にお問い合わせください。

[ユーザー認証画面]



1.2 ログオフ

メインメニュー画面のメニューバー(1.3 参照)の「ログオフ」リンクをクリックします。

1.3 メニューバーとメニュー操作

ログインするとWEB管理ツールのトップページが表示されます。
WEB管理ツールは、全ページ共通でページ左側にメニューバーが表示されています。
操作したいメニュー（メニューにマウスカーソルを合わせると、アンダーラインが表示されます。）をクリックし、各ページで設定・操作を行います。



1.4 メニュー構成

WEB管理ツールのメニュー構成は、下記の構成です。詳細については、以降の章を参照ください。

| | |
|--|-------------------|
| システム管理メニュー 基本設定 ログと監視 設定情報の管理 シャットダウン・再起動 | ・・・詳細は第2章を参照ください。 |
| バックアップ設定メニュー バックアップ 復元 遠隔地バックアップ | ・・・詳細は第3章を参照ください。 |
| 詳細設定メニュー ユーザー設定 共有フォルダ設定 | ・・・詳細は第4章を参照ください。 |

第2章 システム管理メニュー

2.1 基本設定

ここではコンピュータ名やIPアドレスなど、DataTomo サーバーのネットワークに関する基本的な設定を変更することができます。

※ 設定の前にサーバーおよびネットワークの管理者の方に必ず相談してください。
ネットワークの現在の設定には、OS に設定されている IP アドレスを表示しています。WEB 管理ツールから変更することが可能です。

| サービスの設定 | |
|------------|--|
| コンピュータ名 | DataTomo ① |
| コンピュータコメント | DataTomo 2 ② |
| ワークグループ名 | workgroup ③ |
| ログイン認証 | <input checked="" type="checkbox"/> 必要 ④ |

| ネットワーク設定の変更 | |
|------------------|---------------------------------|
| DNSサーバー | 192.168.0.15 ⑤ |
| WINSサーバー | 192.168.0.15 ⑥ |
| 通信帯域制限 | なし (バックアップ) ⑦ なし (遠隔地バックアップ) |
| LAN Manager認証レベル | NTLMv2応答のみ送信する ⑧ |

| ネットワークカード設定の変更 | |
|----------------|-------------------|
| ネットワークカード名 | eth0 ⑨ |
| 有効 | 有効 ⑩ |
| DHCP | 無効 ⑪ |
| IPアドレス | 192.168.100.100 ⑫ |
| サブネットマスク | ⑬ |
| デフォルトゲートウェイ | ⑭ |

| 日付と時刻の設定 | |
|----------|--|
| 日付と時刻 | 11月 19 2010 11:48 HH:MM ⑮ <input checked="" type="checkbox"/> 日付と時刻を自動的に設定 time.windows.com |
| 設定する ⑯ | |

[サービスの設定]フィールド

- ① コンピュータ名は、ネットワーク上に同じ名前が存在しないよう設定します。
- ② コンピュータコメントは、エクスプローラでネットワークコンピュータを参加する場合に表示されるコメントです。
- ③ グループ名は通常、既に構築されている Windows のドメイン名やワークグループ名にあわせませす。
- ④ ログイン認証は、エクスプローラでバックアップしたデータをアクセスする際、認証が必要かどうかを設定します。

[ネットワーク設定の変更]フィールド

- ⑤ DNS サーバーは、DataTomo を接続したネットワークの DNS サーバーです。DHCP サーバーを使う場合は、この値は自動的に設定されます。
- ⑥ WINS サーバーは、DataTomo を接続したネットワークの WINS サーバーです。
- ⑦ 通信帯域制限は、バックアップと遠隔地バックアップ時の帯域制限です。指定された通信帯域制限でバックアップを行ないます。通信帯域制限「なし」「10Mb」「20Mb」「50Mb」「100Mb」「200Mb」「500Mb」が選択できます
- ⑧ LAN Manager 認証レベルは、クライアント（バックアップと復元と遠隔地バックアップ）と通信する時の認証設定です。

WINS サーバーの設定、または、LAN Manager 認証レベルの設定を変更する場合は、システムの再起動が必要です。「シャットダウン・再起動」メニューから「システムの再起動」ボタンをクリックしてください。

[ネットワークカード設定の変更]フィールド

- ⑨ ネットワークカード名は、複数のネットワークカードがある場合に、変更するカードを選択するためのフィールドです。
- ⑩ 有効は、選択したカードを有効にするか無効にするかを設定します。
- ⑪ DHCP は、選択したカードを DHCP サーバーで設定する時に有効にします。
- ⑫ IP アドレスは、DHCP 無効に設定した場合は、このフィールドで固定 IP アドレスを入力します。DHCP を有効に設定した場合は、DHCP から付与された IP アドレスが表示されます。
- ⑬ サブネットマスクは、DHCP を無効に設定した場合は、このフィールドでサブネットマスクの設定を入力します。DHCP を有効に設定した場合は、空白となります。
- ⑭ デフォルトゲートウェイは、DHCP を無効に設定した場合は、このフィールドでデフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力します。DHCP を有効に設定した場合は、空白となります。
- ⑮ 日付と時刻は、手動でか NTP サーバーから設定します。
- ⑯ 変更した値を保存します。

DHCP を有効に設定した場合は、DHCP サーバー側の設定で DataTomo の IP アドレスを固定するか、接続の都度 DHCP サーバーで DataTomo の IP アドレスを確認しないと、WEB 管理画面への接続や Windows のエクスプローラでバックアップデータへのアクセスができなくなることがありますので、注意してください。

2.2 ログと監視

ここではサービスのイベントログの確認や、通知機能、監視機能に関する設定を行ないます。

ログ

| | |
|------------------|-------------------|
| ① イベントログを表示 | ② ログファイルの保存期間 1 月 |
| ③ アクセスログを表示 | ④ ログファイルの保存期間 1 年 |
| ⑤ バックアップログを表示 | ⑥ ログファイルの保存期間 1 月 |
| ⑦ 遠隔地バックアップログを表示 | ⑧ ログファイルの保存期間 2 月 |

イベント通知メール

各種警告や情報を指定されたメールアドレスへ通知します

| | |
|--|---|
| 通知先メールアドレス(To) | ⑨ |
| <small>複数のメールアドレスを指定する場合はスペースで区切って入力してください</small> | |
| 送信者メールアドレス(From) | ⑩ |
| メールサーバー | ⑪ |
| レポート | <input type="checkbox"/> 一週間のレポートを送る(月曜日) ⑫ |
| バックアップ | <input checked="" type="checkbox"/> バックアップを開始する時にメールを送る ⑬ |
| | バックアップが完了した時にメールを送る(エラー時のみ) ▼ ⑭ |
| 遠隔地バックアップ | <input type="checkbox"/> 遠隔地バックアップを開始する時にメールを送る ⑮ |
| | 遠隔地バックアップが完了した時にメールを送る(エラー時のみ) ▼ ⑯ |
| テストメール | 送信する ⑰ |

⑱ 設定する

[ログ]フィールド

- ① 「サーバー、バックアップ、復元、遠隔地バックアップ」のログを表示します。
- ② 指定期間を経過したログが削除されます。
- ③ バックアップしたデータのアクセスログです。例えば、エクスプローラからアクセスしたログが表示されます。
- ④ 指定期間を経過したログが削除されます。
- ⑤ バックアップのログを表示します。
- ⑥ 指定期間を経過したログが削除されます。
- ⑦ 遠隔地バックアップのログを表示します。
- ⑧ 指定期間を経過したログが削除されます。

[イベント通知メール]フィールド

- ⑨ 複数のメールアドレスを指定することも可能です。メールアドレスを複数設定する時は、メールアドレスごとにスペースで区切ります。
- ⑩ メールの送信者アドレスを設定すると、そのアドレスからメールを送信します。
- ⑪ 設定するサーバーは、普段メールの送受信に利用しているメールサーバーや、他のシステムでメール通知機能に利用しているメールサーバーを設定します。
- ⑫ 1週間ごとのレポートを送信する時にチェックを入れます。
- ⑬ バックアップの開始通知メールが必要な場合、チェックを入れます。
- ⑭ バックアップの完了通知メールが必要かどうかを選択します。エラーがあった時だけ送信を行うか、常に送信を行うかを選択できます。
- ⑮ 遠隔地バックアップの開始通知メールが必要な場合、チェックを入れます。
- ⑯ 遠隔地バックアップの完了通知メールが必要かどうかを選択します。エラーがあった時だけ送信を行うか、常に送信を行うかを選択できます。
- ⑰ イベント通知メールの動作確認を行いたい場合、ボタンをクリックすると、テストメールを送信します。
- ⑱ 全ての設定が終わりましたら、「データを保存」ボタンを押して、設定を保存します。

2.3 設定情報の管理

設定値の保存と復元、ライセンス管理、プログラムの更新を行うための画面です。
バージョン管理のタイトル横に、現在のバージョンを表示しています。

設定値

現在のすべての設定値を一つのファイルにまとめてダウンロードできます

ダウンロード ①

設定値の復元

保存されたファイルからすべての設定値を復元します

参照... ②

復元開始 ③

ライセンス管理

ライセンスファイルのインストールを行います
現在の状態：正常にインストールされています

参照... ④

インストール ⑤

バージョン管理 Version 2.0

プログラムを最新にアップデートします。
最新バージョンは[こちら](#)からダウンロードします。

参照... ⑥

アップデート ⑦

[設定値の保存]フィールド

- ① DataTomo サーバーの設定情報をファイルに保存できます。基本設定、監視、バックアップ、遠隔地バックアップ、ユーザー設定および共有フォルダ設定の内容が保存されます。

[設定値の復元]フィールド

- ② ボタンを押して、「設定値ファイル」を選択します。
- ③ ボタンを押して、「設定値ファイル」をサーバーに読み込ませます。

[ライセンス管理]フィールド

- ④ ボタンを押し、ライセンスファイルを選択します。
- ⑤ ボタンを押し、ライセンスファイルを読み込ませます。

[バージョン管理]フィールド

- ⑥ ボタンを押し、更新ファイルを選択します。

更新ファイルは、「最新バージョンはこちらからダウンロードします。」の「こちら」のリンクを押すとインターネット上のダウンロードページが表示されます。ページの内容に従って最新バージョンのダウンロードをしてください。

- ⑦ アップデート前に、①設定値の「ダウンロード」で、設定内容を保存しておいてください。アップデート後に、②設定値の復元の「復元開始」により、保存しておいた設定内容を復元することができます。

バージョンの上位2桁が異なる場合、設定ファイルの互換はありません。

1.1.0 ↔ 1.1.1 : 互換あり

1.1.9 ↔ 1.2.0 : 互換なし

互換がない場合は、事前に設定内容をメモしておき、再入力をお願いします。

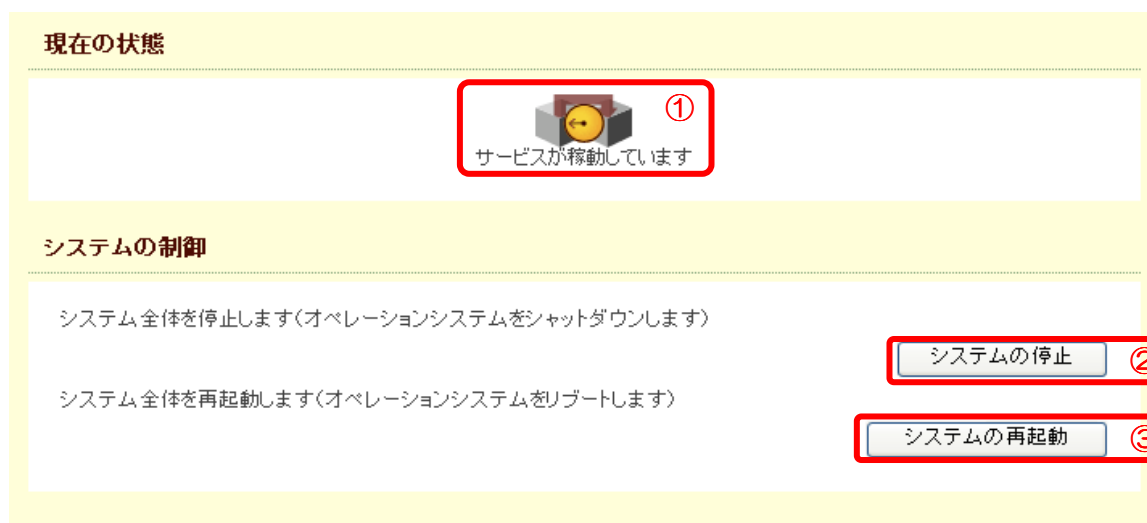
ボタンを押し、更新ファイルを読み込ませます。

アップデートボタンを押すと、エラー画面が表示されWEB管理画面が使えなくなりますが、5～10分ほどしてからキーボードの「F5」キーかブラウザの更新ボタンを押すと、WEB管理ツールのトップ画面が表示されます。

アップデートを行うと、DataTomo は、更新ファイルを読み込んだ後に、システムを再起動させます。再起動中は、WEB管理画面が表示されなくなります。

2.4 シャットダウン・再起動

システムの再起動やシャットダウンを行うことができます。



[現在の状態]フィールド

- ① DataTomo サーバーのサービスが稼働している時、黄色の丸い部分で矢印がアニメーションにより回転しています。ライセンスがない場合は、ここに注意メッセージが表示されます。

[システムの制御]フィールド

サーバーの電源停止や、サーバーの再起動を WEB 管理ツールから行うことができます。

停電の前日や長期・短期の休日前やハードウェアの修理などの際には「システムの停止」で電源を切ります。

サーバーの動作が不安定な場合や、「システム管理-基本設定」の WINS サーバーの設定、または、LAN Manager 認証レベルの設定を変更した場合など、「システムの再起動」を行います。

- ② DataTomo のサーバー全体を停止させたい時に押します。
オペレーションシステムをシャットダウンし、サーバーの電源が自動で切られます。
再びサーバーを起動させる場合は、手動にてサーバーの電源を入れる必要があります。
- ③ DataTomo のサーバーのシステム全体を再起動させたい時に押します。
オペレーションシステムの再起動とともに DataTomo のサービスが稼働します。
再起動して DataTomo の管理画面が使えるようになるまでに、
5~10 分ほどの時間がかかります。

※ 再起動の時間は、サーバーの構成によって異なります。

第3章 バックアップ設定メニュー

3.1 バックアップ

ローカルサイトのサーバーやクライアント PC 上に格納されているファイルやフォルダを、あらかじめ決められたスケジュールに従い、LAN 経由でバックアップする機能です。

バックアップスケジュールリスト

| バックアップ対象マシン | ユーザー名 | 有効なスケジュール | 状態 |
|-------------|-----------------|--------------------------|----------------------|
| COMPUTER01 | user@COMPUTER03 | 毎日 : 0時0分 (日月火水木... | 2010年11月08日 10:40:14 |
| COMPUTER02 | なし | 毎週-火曜 : 0時0分 | 2010年11月08日 10:58:37 |
| COMPUTER03 | user@COMPUTER03 | 毎日 : 0時0分 (日月火水木... | 2010年11月08日 11:00:23 |
| COMPUTER04 | なし | 毎10分 : 11時46分 ~ 11時55... | 2010年10月18日 11:55:07 |
| COMPUTER05 | user@COMPUTER05 | 毎日 : 0時0分 (日月火水木... | 2010年11月05日 16:29:49 |

| 開始日時 | 終了日時 | 所要時間 | バックアップ結果 | ファイル作成 | 転送データ量 | ログファイル |
|----------------------|----------------------|----------|----------|--------|--------|--------|
| 2010年11月05日 16:42:43 | 2010年11月05日 16:42:43 | 00:00:00 | 成功 | 0 | 0 byte | ダウンロード |
| 2010年11月05日 16:42:39 | 2010年11月05日 16:42:40 | 00:00:00 | 成功 | 0 | 0 byte | ダウンロード |
| 2010年11月05日 16:42:36 | 2010年11月05日 16:42:36 | 00:00:00 | 成功 | 0 | 0 byte | ダウンロード |
| 2010年11月05日 16:39:12 | 2010年11月05日 16:39:13 | 00:00:00 | 成功 | 0 | 0 byte | ダウンロード |
| 2010年11月01日 17:46:21 | 2010年11月01日 17:49:32 | 00:03:11 | 成功 | 1 | 1.6 GB | ダウンロード |

①

②

③ タスクを追加 ④ タスクを修正 ⑤ 今すぐバックアップ ⑥ 無効 ⑦ タスクを削除

[バックアップスケジュールリスト]フィールド

- ① バックアップスケジュールリストは、現在の全てのバックアップタスクをリストします。
- ② 選んだバックアップタスクの実行結果が表示されます。
- ③ タスクを追加する場合は、このボタンをクリックします。「3.1.1 バックアップ作成・編集」ページが表示されます。
- ④ タスクを変更する場合は、①のリストでタスク選択して、このボタンをクリックします。「3.1.1 バックアップ作成・編集」ページが表示されます。
- ⑤ すぐバックアップする場合は、①のリストでタスク選択して、このボタンをクリックします。バックアップタスクを中断する場合は、①のリストでタスク選択して、このボタンをクリックします。
- ⑥ タスクを無効にする場合は、①のリストでタスク選択して、このボタンをクリックします。タスクを有効にする場合は、①のリストでタスク選択して、このボタンをクリックします。
- ⑦ タスクを削除する場合は、①のリストでタスク選択して、このボタンをクリックします。

使用制限：

同一のバックアップ対象マシンは登録しないでください。

3.1.1 バックアップ作成・編集

バックアップスケジュール

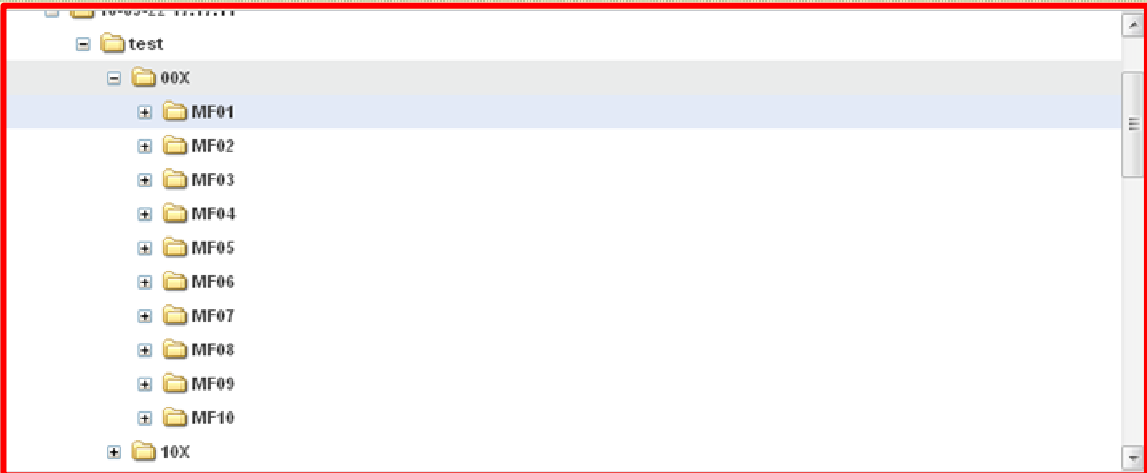
| | | |
|------------|---|---|
| 実行日時 | 毎日 0時 0分 <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input checked="" type="checkbox"/> 月 <input checked="" type="checkbox"/> 火 <input checked="" type="checkbox"/> 水 <input checked="" type="checkbox"/> 木 <input checked="" type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 | ① |
| 世代管理 | 100世代 | ② |
| ファイルをベリファイ | <input type="checkbox"/> バックアップしたファイルをベリファイする | ③ |

バックアップ対象の設定

| | | |
|------------------|------------|---|
| コンピュータ名またはIPアドレス | COMPUTER01 | ④ |
| 認証ユーザー名 | user | ⑤ |
| パスワード | ***** | ⑥ |
| 認証ドメイン名 | domain | ⑦ |

接続 ⑧

バックアップフォルダの指定

 ⑨

+ フォルダをバックアップ対象に追加 ⑩

バックアップ対象フォルダ

表示できる項目はありません。

✖ フォルダをバックアップ対象から削除 ⑫

作成する共有フォルダ名の指定

| | | |
|---------|------------|---|
| 共有フォルダ名 | COMPUTER01 | ⑬ |
|---------|------------|---|

設定する ⑭


[バックアップスケジュールリスト]フィールド

- ① 「実行日時」はバックアップを行う日時を、プルダウンにて設定します。
- ② 「世代管理」の設定では、最大 100 世代まで指定することができます。
- ③ 「ファイルをベリファイ」は、バックアップ時に DataTomo へバックアップしたファイルとバックアップ元のファイルとを比較し、正しくバックアップできたか確認させたい時にチェックを入れます。なお、ベリファイは、2つのファイルのファイルサイズの比較を行い、判定します。

[バックアップ対象の設定]フィールド

- ④ 「コンピュータ名または IP アドレス」を入力します。コンピュータ名はバックアップしたデータの共有フォルダ名としても利用されます。(ネットワーク上のコンピュータ名か IP アドレスを入力してください)
- ⑤ 共有フォルダへアクセスできる「認証ユーザー名」を入力します。
- ⑥ 「パスワード」を入力します。パスワードは●で表示されます。
- ⑦ 「(ユーザーの所属している)認証ドメイン名」を入力します。バックアップ対象サーバーのローカルユーザーを設定する場合は、「認証ドメイン名」を空白にしておきます。
- ⑧ ④～⑦を入力した後に、バックアップ対象コンピュータにログインします。ログインが成功すると、[バックアップフォルダの指定]フィールドに、ログインしたコンピュータのフォルダ構成が表示されます。

[バックアップフォルダの指定]フィールド

- ⑨ ⑧ボタンをクリックした後は、対象のコンピュータの共有フォルダが表示されます。「」ボタンをクリックすると、フォルダの下層フォルダが表示されます。
- ⑩ このボタンのクリックで、⑨ツリーで選択したフォルダを「バックアップ対象フォルダ」に追加します。複数選択することも可能です。
- ⑪ 現在のバックアップ対象フォルダリストです。バックアップが実行された時、このリストのフォルダがバックアップ対象となります。
- ⑫ ⑪のバックアップ対象フォルダから選択したフォルダを外します。
- ⑬ 作成する共有フォルダ名の指定は、バックアップする時、DataTomo 側へ共有フォルダを設定します。
- ⑭ 「設定する」ボタンを押すと、設定した情報を保存します。

3.2 復元

バックアップ（ローカルバックアップ）されたファイルをリストア（復元）する機能です。

復元するバックアップデータの指定

DataTomo内の共有フォルダ名

USER-PC

世代

10-11-04 10.46.59

- TEST
 - DATA
 - Folder06
 - Folder09
 - Folder08
 - Folder02
 - Folder07
 - Folder04
 - Folder01
 - Folder05
 - Folder03

復元先の指定

復元先コンピュータ名またはIPアドレス

COMPUTER01

認証ユーザー名

user

パスワード

●●●●●●

認証ドメイン名

domain

接続

- lots
 - 1
 - 10
 - 2
 - 9
 - 3
 - 4
 - 5
 - 6
 - 7
 - 8

復元を開始

[復元するバックアップデータの指定]フィールド

- ① バックアップした対象コンピュータ名です。
- ② 複数世代がある場合、このドロップダウンから復元したい世代を選択します。世代名は、バックアップ開始日時です。
- ③ ①と②の値を選択した後は、このツリーから復元するフォルダを選択します。

[復元先の指定]フィールド

- ④ 「コンピュータ名」を入力します。コンピュータ名はデータを復元するコンピュータです。(ネットワーク上のコンピュータ名を入力してください)
- ⑤ 共有フォルダへアクセスできる「認証ユーザー名」を入力します。
- ⑥ 「パスワード」を入力します。
- ⑦ 「(ユーザーの所属している)認証ドメイン名」を入力します。復元対象サーバーのローカルユーザーを設定する場合は、「認証ドメイン名」を空白にしておきます。
- ⑧ ⑤～⑧を入力した後に、復元先コンピュータにログインして見ます。ログイン後は、復元先フォルダを選択します。
- ⑨ ⑧ボタンをクリックした後は、対象のコンピュータの共有フォルダが表示されます。「+」ボタンをクリックすると、フォルダの下層フォルダが表示されます。
- ⑩ 「復元するバックアップデータの指定」フォルダと「復元先の指定」フォルダを選択した後、このボタンをクリックすると復元を開始します。

3.3 遠隔地バックアップ

予め設定したスケジュールに従い、リモートサイトに存在する別の DataTomo へ WAN 経由にてバックアップを行う機能です。

- ※ バックアップ元となるのは、DataTomo サーバーにバックアップされているデータです。
共用フォルダ単位で指定することができます。

遠隔地バックアップスケジュールリスト

| バックアップ対象 ^ | バックアップ先サーバー | ユーザー名 | 有効なスケジュール | 状態 |
|-----------------|-------------|------------------------|-----------------|----------------------|
| 共有フォルダ02,共有フ... | COMPUTER01 | user@domain | 毎日 :0時0分 (日月... | 2010年11月09日 09:39:20 |
| DATA | COMPUTER02 | administrator@COMPU... | 毎日 :0時0分 (日月... | 2010年10月19日 09:04:58 |

| 開始日時 ^ | 終了日時 | 所要時間 | バックアップ結果 | ファイル作成 | 転送データ | ログファイル |
|----------------------|----------------------|----------|-----------|--------|----------|------------------------|
| 2010年11月09日 09:38:57 | 2010年11月09日 09:39:20 | 00:00:22 | 成功 | 20 | 403.3 MB | ダウンロード |
| 2010年11月09日 09:36:49 | 2010年11月09日 09:36:49 | 00:00:00 | 成功 | 0 | 0 byte | ダウンロード |
| 2010年11月09日 09:36:24 | 2010年11月09日 09:36:35 | 00:00:10 | 成功 | 0 | 0 byte | ダウンロード |
| 2010年11月09日 09:31:05 | 2010年11月09日 09:31:13 | 00:00:08 | 成功 | 4 | 122.1 MB | ダウンロード |
| 2010年11月09日 09:30:27 | 2010年11月09日 09:30:58 | 00:00:31 | ファイルが存在しな | 0 | 0 byte | ダウンロード |

②

③ タスクを追加 ④ タスクを修正 ⑤ 今すぐバックアップ ⑥ 無効 ⑦ タスクを削除

[遠隔地バックアップスケジュールリスト]フィールド

- ① 遠隔地バックアップスケジュールリストは、現在の全てバックアップタスクをリストします。
- ② 選んだバックアップタスクのログを表示します。
- ③ タスクを追加する場合は、このボタンをクリックします。「3.3.1 遠隔地バックアップ作成・編集」ページを表示します。
- ④ タスクを変更する場合は、①のリストでタスク選択して、このボタンをクリックします。「3.3.1 遠隔地バックアップ作成・編集」ページを表示します。
- ⑤ すぐバックアップする場合は、①のリストでタスク選択して、このボタンをクリックします。遠隔地バックアップタスクを中断する場合は、①のリストでタスク選択して、このボタンをクリックします。
- ⑥ タスクを無効にする場合は、①のリストでタスク選択して、このボタンをクリックします。タスクを有効にする場合は、①のリストでタスク選択して、このボタンをクリックします。
- ⑦ タスクを削除する場合は、①のリストでタスク選択して、このボタンをクリックします。

3.3.1 遠隔地バックアップ作成・編集

バックアップ対象 (共有フォルダ)

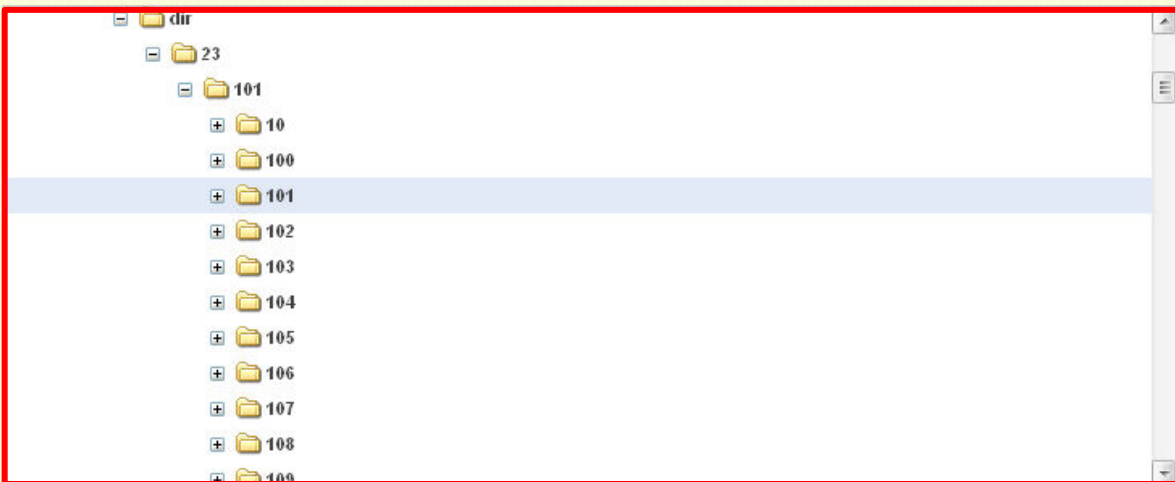
| | | |
|-------------------------------------|------------|---|
| <input type="checkbox"/> | バックアップする ^ | ① |
| <input type="checkbox"/> | 共有フォルダ01 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 共有フォルダ02 | |
| <input type="checkbox"/> | 共有フォルダ03 | |

遠隔地バックアップ対象の設定

| | |
|------------------|---|
| 実行日時 | 毎時 19時 0分 から 20時 0分 まで 30分間ごと ② <input checked="" type="checkbox"/> 日 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input checked="" type="checkbox"/> 土 |
| コンピュータ名またはIPアドレス | COMPUTER ③ |
| サーバー種類 | ファイルサーバー ④ |
| 認証ユーザー名 | user ⑤ |
| パスワード | ⑥ |
| 認証ドメイン名 | domain ⑦ |

接続 ⑧

バックアップフォルダの指定



⑨

設定する ⑩


[バックアップ対象 (共有フォルダ)]フィールド

- ① 遠隔地バックアップするデータを選択します。

[遠隔地バックアップ対象の設定]フィールド

- ② 「実行日時」は遠隔地バックアップを行う日時を、プルダウンにて設定します。
- ③ 「コンピュータ名」を入力します。コンピュータ名は遠隔地のバックアップ先を指定します。(ネットワーク上のコンピュータ名を入力してください)
- ④ ファイルサーバーまたは DataTomo を設定します。
- ⑤ バックアップ先の共有フォルダへアクセスできる「認証ユーザー名」を入力します。
- ⑥ 「パスワード」を入力します。
- ⑦ 「(ユーザーの所属している)認証ドメイン名」を入力します。遠隔地バックアップ対象サーバーのローカルユーザーを設定する場合は、「認証ドメイン名」を空白にしておきます。
- ⑧ ②～⑥フィールド入力した後は、遠隔地バックアップ対象コンピュータにログインします。ログインが成功すると、[バックアップフォルダの指定]フィールドに、ログインしたコンピュータのフォルダ構成が表示されます。

[バックアップフォルダの指定]フィールド

- ⑨ ⑦ボタンをクリックした後は、対象のコンピュータの共有フォルダが表示されます。「」ボタンをクリックすると、フォルダの下層フォルダが表示されます。
- ⑩ このボタンのクリックで、⑧ツリーで選択しているフォルダを遠隔地バックアップ先のフォルダとして設定します。

第4章 詳細設定メニュー

4.1 ユーザー設定

ここでは、新規ユーザーの作成やユーザーの設定情報の変更を行いません。

ユーザー一覧

| 名前 | WEB管理ツールのアクセス | 共有フォルダーのアクセス | 最終ログイン | コメント |
|--------|-------------------------------------|--------------|---------------------|------|
| bob | <input type="checkbox"/> | test 共有フォルダ | 未ログイン | |
| backup | <input type="checkbox"/> | 全部 | 未ログイン | |
| root | <input checked="" type="checkbox"/> | なし | 2010年09月14日 11:2... | |
| user01 | <input checked="" type="checkbox"/> | 全部 | 未ログイン | |

①

② ③ ④

[ユーザー一覧]フィールド

- ① DataTomo システムのユーザー一覧を表示します。
- ② 新しいユーザーを追加します。「4.1.1 ユーザー作成・編集」ページを表示します。
- ③ ユーザーの設定を変更する場合は、①の一覧でユーザー列を選択して、このボタンをクリックします。「4.1.1 ユーザー作成・編集」ページを表示します。
- ④ ユーザーを削除する場合は、①の一覧でユーザー列を選択して、このボタンをクリックします。

4.1.1 ユーザー作成・編集

ユーザー情報の修正

| | | |
|------------|--|---|
| ユーザー名 | <input type="text" value="user"/> | ① |
| コメント | <input type="text" value="ユーザーコメント"/> | ② |
| パスワード | <input type="password" value="....."/> | ③ |
| パスワード(再入力) | <input type="password" value="....."/> | ④ |
| | <input checked="" type="checkbox"/> WEB管理ツールにアクセスできる | ⑤ |
| | <input type="checkbox"/> 全ての共有フォルダにアクセスできる | ⑥ |

フォルダ名

test

共有フォルダ

設定する ⑧

[ユーザー一覧]フィールド

- ① WEB 管理ツールとエクスプローラをログインするためにユーザー名です。
- ② ユーザーコメントは、ユーザー一覧で表示するコメントです。
- ③ ユーザーパスワードを設定します。制限がありませんので、ブランクパスワードも設定できます。
- ④ パスワードを確認するフィールドです。③入力したパスワードを入力しなければなりません。
- ⑤ WEB 管理ツールへログインできるかどうか指定します。チェックボックスにチェックした場合、このユーザーで、WEB 管理ツールへのログインが可能になります。
- ⑥ DataTomo サーバーのバックアップデータをエクスプローラから参照できるかどうか指定します。チェックボックスにチェックした場合、このユーザーで、バックアップデータを参照することができます。
- ⑦ アクセスできる共有フォルダを個別に選択することができます。(⑥ですべての共有フォルダをアクセスさせたくない場合に使用します。)
- ⑧ ユーザーの設定を編集して終わる場合は、このボタンをクリックします。

4.2 共有フォルダ設定

ここでは、新規ユーザーの作成やユーザーの設定情報の変更を行いません。
また、ストレージの容量についての情報を表示します。

現在の共有フォルダ一覧

| 名前 | コメント |
|--------|-------------|
| test | |
| 共有フォルダ | 共有フォルダのコメント |

①

+ フォルダを追加

✎ フォルダを修正

✖ フォルダを削除

ストレージの容量

②

③

④

| サイズ | 使用 | 残り | 使用率 |
|---------|---------|-------|-----|
| 36.1 GB | 13.1 GB | 23 GB | 36% |

⑤

[現在の共有フォルダ一覧]フィールド

- ① 現在 DataTomo システム共有フォルダ一覧を表示します。
- ② 新しい共有フォルダを追加します。「4.2.1 共有フォルダ作成・編集」ページを表示します。
- ③ 共有フォルダの設定を変更する場合は、①の一覧で共有フォルダ列を選択して、このボタンをクリックします。「4.2.1 共有フォルダ作成・編集」ページを表示します。
- ④ 共有フォルダを削除する場合は、①の一覧で共有フォルダ列を選択して、このボタンをクリックします。

[ストレージの容量]フィールド

- ⑤ DataTomo サーバーのストレージの状態を表示します。
「サイズ」の値は、ストレージ領域の全容量を合計した値です。
「使用」の値は、ストレージ領域の使用容量を合計した値です。
「使用率」の値は、ストレージ領域の使用率です。
「残り」の値は、ストレージ領域の空き容量を合計した値です。

4.2.1 共有フォルダ作成・編集

共有フォルダ設定の変更

| | | |
|-------------|--|---|
| 共有フォルダの名前 | <input type="text" value="共有フォルダ"/> | ① |
| 共有フォルダのコメント | <input type="text" value="共有フォルダのコメント"/> | ② |

③

[ユーザー一覧]フィールド

- ① 共有フォルダ名は、エクスプローラで表示する名前です。
- ② 共有フォルダのコメントは、共有フォルダ一覧とエクスプローラで表示するコメントです。
- ③ 共有フォルダの設定を編集して終わる場合は、このボタンをクリックします。

以上